

あいちこ しょうどう
愛知子ども食堂ネットワーク
きょうどうだいひょう
共同代表

やまざき まさのぶ
山崎 正信さん



プロフィール

氏名: 山崎 正信(やまざき まさのぶ)
生年月日: 1948年8月31日
所属: あいち子ども食堂ネットワーク 共同代表
いきいき塾NPO 代表理事
活動拠点: 愛知県日進市

主な経歴等 ▶ 2008年10月いきいき塾
NPO 設立、代表理事に就任。

2008年11月中日新聞なごや東版に、
定年退職者居場所作りたまり場サロン開設
に関する記事が掲載される。

2016年6月に日進絆子ども食堂キック
オフ講演会を開催。2017年1月より第二日
曜日に日進絆子ども食堂を開設。2017年
6月愛知子ども食堂ネットワークの共同代
表に就任。



メッセージ

わたし ちゅうがく こうこうじだい ぶ かえ しんしんども おお せいちょう じ き
私の中学、高校時代を振り返りますと、心身共に大きく成長ができた時期で
した。同時に、自我の目覚めや自分自身の発見もあり、複雑な時期でもありまし
た。そのとき私を支えてくれたのは、学校でもない、家庭でもない、集落(岐阜県
揖斐郡徳山村)の地域の人たちでした。母親の帰りが遅くなるときは、隣家で
ゆうはん とも りょうせいかつ なかま しょうらい ゆめ すず しんろ ぞうだん
夕飯をいつもごちそうになりましたし、雪が多くて通学ができない12月から3月
までは、共に寮生活をしていた仲間と将来の夢や進むべき進路の相談をする
きかい
機会がありました。

げんざい のように、かくさしやかい かくかぞくしやかい よ そ いばしよ すく ぞうだん
現在のように、格差社会、核家族社会では「寄り添う」居場所が少なく、相談
しや おも た あ
者もないと思い、子ども食堂を立ち上げたわけです。

こ しょうどう ちいき こ だれ こ はん た
子ども食堂は、地域子どもたちが誰でも来られて、ご飯も食べられるし、
べんきょう あそ じゆうど たか ぼ
そこで勉強もできるし、遊ぶこともできる、「自由度」の高い場です。
あいちけん しょうほど こ しょうどう かいせつ
愛知県には90か所程の子ども食堂が開設されています。

どうか、いちど ちか こ しょうどう あし はこ
どうか、一度近く子ども食堂に足を運んでください。
いばしよ み おも
あなたの居場所が見つかると思います。



氏名:伊東 浄江(いとう きよえ)
生年月日:1957年6月29日
所属:NPO法人トルシーダ 理事長
活動拠点:愛知県豊田市

いとう きよえ
伊東 浄江さん



主な経歴等 ▶ 2003年にトルシーダを立ち上げ、学校へ行っていない不就学の外国人の子どもの居場所づくりとして日本語教室を実施。

活動の様子は日本経済新聞出版社「ルポ日本の縮図に住んでみる」、朝日新聞「子どもたちは」等で取り上げられる。

2012年愛知県多文化共生社会づくり表彰、2017年内閣府子供と家族・若者応援団表彰を受賞。

メッセージ

みなさん、こんにちは！

わたしは、外国から来た子どもや若者の支援をしています。彼らは日本語が分からなかったり、習慣が違ったりすることで社会から孤立しがちです。でも、それは外国人特有のことでしょうか。

人間関係に悩んだり、社会に居場所がなかったりする「人がいる」と言われますが、それは誰にでも起こる「ときがある」と、私は感じています。そんなとき大切なのは「助けて」と言える強さを持つことだと思います。

人は人のためなら頑張れるといいます。手を差し伸べる人は必ずいます。私自身も支援しながら、子どもたちのあたたかい気持ちに励まされます。「助けて」の一言を、つながり支え合い、共に歩む関係をつくる、勇気ある言葉としてみなさんに贈りたいと思います。

～困ったときに助けてと言える強さを持とう！～



氏名:市川 武史(いちかわ たけし)
生年月日:1982年9月24日
所属:on the Ground Project 代表
株式会社エニシア 代表取締役
活動拠点:愛知県名古屋市

いちかわ たけし
市川 武史さん



主な経歴等 ▶ 大学在学中、新聞社にて記者として活動。紙面の企画や、取材、原稿執筆を行い、LGBTの特集を中心に、経営者、作家、政治家などの取材を行う。大学卒業後、Web制作会社に営業/ディレクターとして勤務。在職中に「仕事のご縁をいただきたい人について徹底的に調べ、手紙やメールでアプローチする」考え方・営業手法が注目され、NHK「めざせ!会社の星」にて紹介される。2012年に株式会社エニシアを設

立。現在は、on the Ground Project(オンザグラウンドプロジェクト)を立ち上げ、LGBTが働きやすい環境づくりのため、研修・講演活動を行っている。

メッセージ

自分自身が同性愛者(ゲイ)だと意識し始めたのは高校に入ってからのことです。それから、「なぜ生まれてきてしまったのだろう」と毎日のように泣く日々が続きました。大学卒業後、就職してからは高校生の時に悩んだ経験から「温かい社会をつくりたい」と思い、本やテレビを見て「一緒に仕事をしたい」と思った方に手紙を書いて、多くの方とご縁をいただきました。

そうしてできた点と点が繋がり、周りを見てみると、高校生の時にはひとりぼっちで誰にも言えずに悩んでいたにも関わらず、多くの応援してくれる人に囲まれ、現在は起業をしてLGBTを軸にしたダイバーシティ(多様な人材が働きやすい環境づくり)に関する事業を行っています。

「自分は周りと違う」と悩んでいること、あなたが感じる社会への小さな違和感は、「みんなが過ごしやすい社会」につながるヒント。環境が人をつくると言いますが、その環境は自分でつくることができます。

小さな行動が周りの人を変え、社会を変えていきます。
みんなで一緒に温かい社会を作りましょう!



氏名:高坂 朝人(たかさか あさと)
生年月日:1983年6月11日
所属:NPO法人再非行防止
サポートセンター愛知 理事長
活動拠点:愛知県名古屋市

たかさか あさと
高坂 朝人さん

主な経歴等 ▶ 2014年にNPO法人再非行防止サポートセンター愛知を立ち上げ、非行少年を支援するための取組を行う。

2015年に自立準備ホームを開所し、さまざまな事情で親元に住むことのできない保護観察中の少年・少女に対する、住まいの支援を行う。

支援を行ってきた非行少年・少女は95名程。

活動が認められ、社会貢献支援財団や法務省高松矯正管区等から表彰される。



第3回世界保護観察会議、内閣府青少年問題調査研究会等で講演。NHK「目撃!日本列島」、朝日新聞「フロントランナー」等で取り上げられる。

メッセージ

僕は、非行少年だった。
中1の時、勉強や部活がうまくいなくて、自分はダメなやつだと思った。規則違反をした時に、友人から「スゴイ!」と言われて、認められたと感じた。非行が徐々に始まり、非行グループに加入したが、地獄への入り口になった。

鑑別所、少年院に入っても、非行を繰り返した。
24歳の時に、妻が妊娠して、我が子を不幸にしたいと思わず、生き直しを決めた。

しかし、仕事も人間関係もうまくいかなかった。
でも、「再非行を減らし笑顔を増やす」という『夢』と、大切な『家族』があった。

99%努力を重ねたら、お金では買えない1%の幸せが訪れることを実感。

努力は、幸せへの確実な道。

自分と未来は変えられる。でも、一人では変えられない。

あいち子ども・若者育成計画2022

あいちけん 愛知県では、「あいち子ども・若者育成計画2022」を定めて、様々な施策を行います。



けいかくきかん
計画期間

ねんど ねんど
2018年度～2022年度



けいかく きほんりねん しさくもくひょう
計画の基本理念・施策目標

基本理念

子ども・若者が健やかに成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして

施策目標

I

すべての子ども・若者の健やかな育成

愛知の子ども・若者が、それぞれ自立し、未来の担い手として活躍できるよう、健やかな体と豊かな心を育む社会づくりをめざします。



すこやか

II

困難を抱える子ども・若者やその家族への支援

様々な困難を抱える子ども・若者に寄り添い、一人一人の状況に応じた支援が行われる社会づくりをめざします。



よりそい

III

子ども・若者の成長のための地域社会づくり

家庭、学校、地域社会が成長を支える存在として、つながりながらその役割を果たし、地域全体で育む社会づくりをめざします。



つながり

IV

未来をつくる子ども・若者の活躍促進

愛知の子ども・若者が、未来に向かって、夢や希望を持って前進できるよう、活躍を後押しする社会づくりをめざします。



あとおい



乳幼児期

おおむね5歳まで

学童期

おおむね6～11歳

〈施策目標〉

【体制整備】 ▼地域における子ども・若者育成支援ネットワークの充実 ▼スクールソーシャルワーカーの

I
全ての子ども・
若者の健やかな
育成



【健やかな体と豊かな心の育成】
▼幼児向け自然体感プログラムの提供

【健やかな体と豊かな心の育成】

▼小学生親子向けトップアスリートとの運動講習会の開催 ▼食育

【今を生き抜く力の養成】

▼道徳教育サイト「モラルBOX」を活用した情報モラル教育の

▼読書活動の推進 ▼高校生防災セミナーの実施

【自立を育む多様な交流】

▼中学生による少年の主張愛知県大会の開催

II
困難を抱える
子ども・若者
やその家族
への支援

貧困

【生活支援】 ▼子ども食堂運営ボランティア向け講座の実施 【教育の支援】 ▼生活困窮者向け施設と就労支援機関「地域若者サポートステーション」の連携促進 【保護者に対する生活支援・

児童虐待

【相談体制の充実】 ▼児童相談センターの弁護士配置等による体制強化 ▼専門ダイヤル☎189(いち)

外国人

【保護者等への支援】 ▼「多文化子育てサロン」の実施 【教育の充実】 ▼語学相談員の派遣

自殺

【相談活動の充実】 ▼スクールカウンセラー等の配置 ▼子ども

障害

【特別支援教育の充実】 ▼障害の状態に応じた支援や指導の実施 【就労支援】 ▼就労アドバイザー

いじめ
不登校

【相談・指導体制の充実】 ▼家庭教育コーディネーターとの相談 ▼

【多様な学びの機会の提供】 ▼城北つばさ高等学校での学校づくり

若年無業者
ひきこもり



性的少数者

【理解の促進】 ▼講演会・研修会等の実施、パンフレットの

少年非行

【非行防止活動等の充実】 ▼街頭補導活動の実施 ▼非行防止の

III
子ども・若者
の成長のため
の地域社会
づくり

〈各年代共通〉

【家庭、学校、地域全体で子ども・若者を育む環境づくり】 ▼「親の学び」学習プログラムを活用した講座

【地域で子ども・若者を支える担い手の育成】 ▼ボーイスカウト・ガールスカウト始め青少年団体の育成

【子ども・若者が安心して暮らせる社会環境づくり】 ▼「保護者のためのネットモラル塾」の実施 ▼愛知

【子育て支援等の充実】 ▼毎月19日「子育て応援の日(はぐみんデー)」の普及促進 ▼「はぐみんカード」の

【ワーク・ライフ・バランスの推進】 ▼「ファミリー・フレンドリー企業」の登録推進 ▼管理職等の意識啓

IV
未来をつくる
子ども・若者
の活躍促進



【愛知の産業の担い手となる人材の育成】

▼小・中学生向け技能大会「アイチータ杯」の開催

▼「出張発明クラブ」の開催

▼中学生向け漁業に関する学習会の実施

【グローバル社会で活躍する人材の育成】

▼オリンピック・パラリンピックを通じた国際的視野を持った人材の育成

【社会貢献活動等に取り組む若者の応援】

▼奉仕活動が顕著な青少年・青少年団体の表彰 ▼子ども・若者が自らの考えを発言できる場の提供 ▼「あいち

成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして

※年齢は目安として示したものであり、対象者はこれに縛られるものではありません。

思春期

おおむね12～17歳

青年期

おおむね18～29歳

ポスト青年期

おおむね30～39歳

配置拡充始め学校における相談体制の充実 ▼児童相談センターによる相談・判定指導始め地域における相談体制の充実 等

推進者の育成

【若者の職業的自立、就労等支援】

- ▼学卒者職業訓練の実施
- ▼「ヤング・ジョブ・あいち」による職業適性診断・職業相談・職業紹介・キャリアコンサルティング
- 【自立を育む多様な交流】
- ▼学生消防団交流シンポジウムの開催 ▼地域コミュニティの中核「総合型スポーツクラブ」の育成

実施

学習支援 ▼奨学給付金の支給 ▼高校中退者等に対する高卒認定試験合格に向けた無料の学習支援 【就労支援】 ▼就労支援就労支援 ▼ひとり親家庭の親同士、親子の交流の場を提供 ▼母子家庭等就業支援センターにおける就業支援講習会の実施

やく)での24時間365日相談対応

【就職の支援】 ▼職業訓練の実施等 【相談・支援体制の充実】 ▼多文化ソーシャルワーカーによる多言語での相談・情報提供

SOSホットライン24(0)120-0-78310等での相談対応 【総合的な自殺対策の推進】 ▼精神疾患等の正しい知識やゲートキーパーに関する啓発

ザーの配置 ▼障害者職業訓練の実施 【発達障害のある子ども・若者への支援】 ▼あいち発達障害者支援センターでの相談

大学生等を「ホームフレンド」として派遣

【就労支援】 ▼「ヤング・ジョブ・あいち」による職業適性診断、職業相談、職業紹介

【再チャレンジへの支援】 ▼就労支援機関「地域若者サポートステーション」との連携によるマッチング機会の拡充

【ひきこもり総合支援】 ▼ひきこもり地域支援センターによる相談対応 ▼ひきこもり支援サポーターによるアウトリーチ

作成

啓発 ▼愛知学園による自立支援 ▼立ち直り支援活動の充実

の実施 ▼「家庭の日」県民運動の実施 ▼放課後児童クラブの支援員育成のための研修の実施

▼中高年・シニア世代を環境学習の講師として養成

県青少年保護育成条例に基づく有害環境対策としての立入調査の実施 ▼交通安全県民運動の実施 ▼防犯教室の実施

配付による子育て家庭への優遇

発のための「イクボス養成講座」の実施

【愛知の産業の担い手となる人材の育成】

- ▼高校等への「あいち技能伝承バンク」によるあいち技の伝承士の派遣 ▼技能検定・技能顕彰の実施 ▼STEM教育の実施
- ▼航空機製造現場への見学及びセミナーの実施 ▼農業系高校によるGAP(農業生産工程管理)教育の推進

【世界で活躍するスポーツ選手、芸術家の育成】

- ▼東京オリンピックに向けた強化指定選手の競技力強化 ▼新進芸術家の育成

【グローバル社会で活躍する人材の育成】

- ▼高校でのALT(外国語指導助手)の配置促進
- ▼指定校での「あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業」の実施



子ども・若者への応援メッセージ集」の作成・配付



子ども・若者が健やかに成長し、それぞれ自立・活躍できる社会をめざして

<p>I すべての子ども・若者の健やかな育成</p>	<p>1 健やかな体と豊かな心の育成 (1) 基本的な生活習慣の形成 (2) 健やかな体と豊かな心の育成</p> <p>2 今を生き抜く力の養成 (1) 学力の向上 (2) 社会の変化への対応 (3) 健康に関する教育と支援の推進</p> <p>3 若者の職業的自立、就労等支援 (1) 働く意欲、職業能力の養成 (2) 就労等支援の充実</p> <p>4 子ども・若者の自立を育む多様な交流</p>
<p>II 困難を抱える子ども・若者やその家族への支援</p>	<p>1 困難を抱える子ども・若者の総合的な支援 (1) 子ども・若者支援地域協議会の設置促進と活性化 (2) 子ども・若者に関する相談体制の充実</p> <p>2 困難な状況に応じた取組 (1) 子どもの貧困問題への対応 (2) 児童虐待防止対策 (3) 外国人の子ども・若者の支援 (4) 自殺対策 (5) 障害等のある子ども・若者の支援 (6) 学校におけるいじめへの対応、不登校の子どもへの支援 (7) 若年無業者等の若者の支援 (8) ひきこもりの若者の支援 (9) 性的少数者に対する理解促進 (10) 非行防止、非行・犯罪に陥った子ども・若者の支援</p>
<p>III 子ども・若者の成長のための地域社会づくり</p>	<p>1 家庭、学校、地域全体で子ども・若者を育む環境づくり (1) 保護者等への積極的な支援 (2) 「チームとしての学校」と地域との連携・協働 (3) 地域全体で子どもを育む環境づくり</p> <p>2 地域で子ども・若者を支える担い手の育成</p> <p>3 子ども・若者が安心して暮らせる社会環境づくり (1) 有害環境への対応 (2) 子ども・若者の福祉を害する犯罪対策 (3) 子ども・若者が犯罪等の被害に遭わないまちづくり</p> <p>4 子育て支援等の充実</p> <p>5 ワーク・ライフ・バランスの推進</p>
<p>IV 未来をつくる子ども・若者の活躍促進</p>	<p>1 愛知の産業の担い手となる人材の育成</p> <p>2 グローバル社会で活躍する人材の育成</p> <p>3 世界で活躍するスポーツ選手、芸術家の育成</p> <p>4 社会貢献活動等に取り組む若者の応援</p>

あいち子ども・若者への応援メッセージ集

平成30年8月

愛知県県民文化部社会活動推進課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話:052-954-6175(ダイヤルイン) FAX:052-971-8736

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syakaikatsudo/ouenmessage.html>



